



はじめに50年の長きに渡りまして、東海理研を支えて頂きましたお客様、協力会社様、並びに地域の皆様、そして会長をはじめとして社員とご家族の皆様には厚くお礼を申し上げます。私が社長に就任しまして、今年で20年を迎えます。この間、郵政民営化、リーマンショック、東日本大震災後の不景気と私に3つの試練が与えられました。皆様のご協力とご支援のお蔭様で乗り越える事ができました。重ねて御礼を申し上げます。

『二十世紀と格闘した先人たち』寺島実郎氏著作の冒頭の二節に、「この世の中には、決して忘れてはならないこと、知らなかったでは済まされることがある。『時代認識と進路』を語ろうとする者は、可能な限り正確で深い歴史認識に基づいて発言することが求められる」とあります。常に現場に立ち、方針を示す経営者の末席を汚す者として、自らが扱う対象の一つに『歴史』がある事に気づかされた書籍でした。2030年までの国際目標として持続可能な開発の為のアジェンダがあります。山紫水明の地にあり、元気で自由な風土がある弊社は、気候変動、各資源、ジェンダーに加えてインフラ・産業化・イノベーションの目標にコミットしています。板金技術を基礎として情報技術、個人認証技術、画像認識技術を融合した商品開発を進めます。具体的には、人口減の中で、高度なセキュリティ技術に担保され、安全安心なサービスを提供するホテルやデータセンターの無人化システムやクラウドを利用した工作機械のシェアリングシステムの開発を実現します。

私は今年還暦を迎えました。70歳で東海理研の社長を卒業する予定です。そして、新たに70歳以上の社員で構成する会社を設立する計画をしています。年を重ねても可能な限り、年金に頼らない経済的に自立した自由でパワフルな会社を作ろうと思います。もちろん、定年はありません。10年後に設立する新たな会社で元気に働きながら、東海理研の100周年を妻・恵里子と一緒に迎える事が人生の目標の一つです。その時、私は煩惱の数を二つ超えた109歳です。これから皆様のご指導を賜りながら、菩提の境地に到達できるように精進して参る所存です。

今後とも宜しくお願い申し上げます。

代表取締役社長 佐藤明広



東海理研株式会社
創立50周年記念誌

発行日 2019年12月吉日
発行 東海理研株式会社
制作 Woods
イラスト 稲木美保